



台湾市場の魅力について

2019年2月23日

本日本話しする内容です

- 1 台湾について**
- 2 台湾市場の5つの魅力**
- 3 アジア・世界をリードする台湾企業**
- 4 台湾証券取引所について**

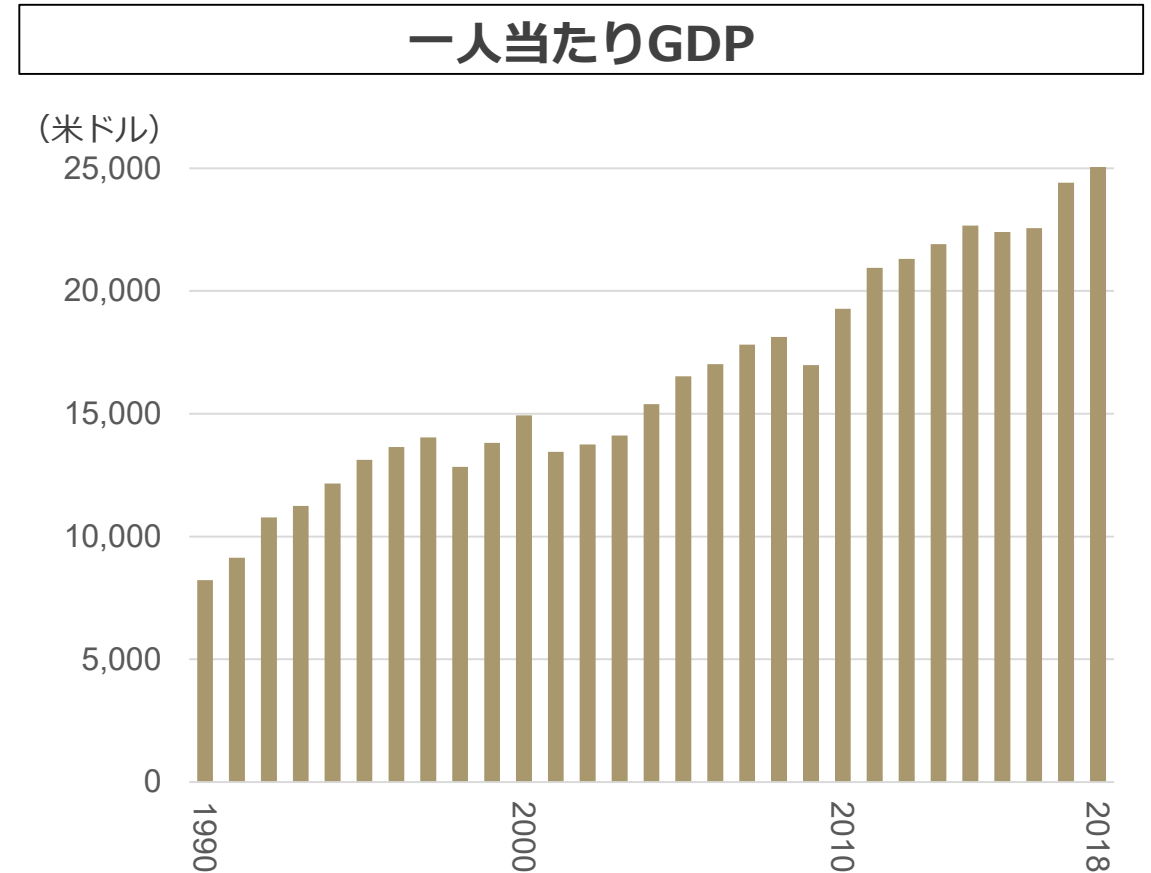


1

台湾について

1 台湾について | 着実な経済成長を実現

着実に成長する台湾経済



出所:各種資料、台湾国家発展委員会2018年データブックなどより
バリュークリエイイト作成

国土 約3.6万平方km
九州より一回り小さい

人口 約2,359万人

GDP 5,905億ドル

一人当たりGDP 25,048ドル

経済成長率 3.5%
(2010-2018年の年率換算)

通貨 台湾ドル
1 台湾ドル=約3.6円

1 台湾について | 東アジア・東南アジアの中心に立地

アジアの都市に近い台北

フライト時間（概算）

	台北	東京
上海	約1.5時間	約4時間
香港・深圳	約1.5時間	約5.5時間
バンコク・ホーチミン	約3.5時間	約6-7時間
ジャカルタ	約5.5時間	約7.5時間
シンガポール	約4.5時間	約7.5時間
ソウル	約2.5時間	約2.5時間
マニラ	約2時間	約4.5時間

1 台湾について | IT、モノづくりからバイオ医薬まで

半導体



ITデバイス・通信メディア



工作機械・自転車・精密機械



半導体・液晶



経済政策

5大イノベーション研究開発計画

- グリーンエネルギー技術
- スマート機械
- アジアシリコンバレー計画
- バイオテクノロジー
- 国防産業

世界経済フォーラムの国際競争力レポートでは、台湾の産業クラスター発展指数は世界第5位にランキング



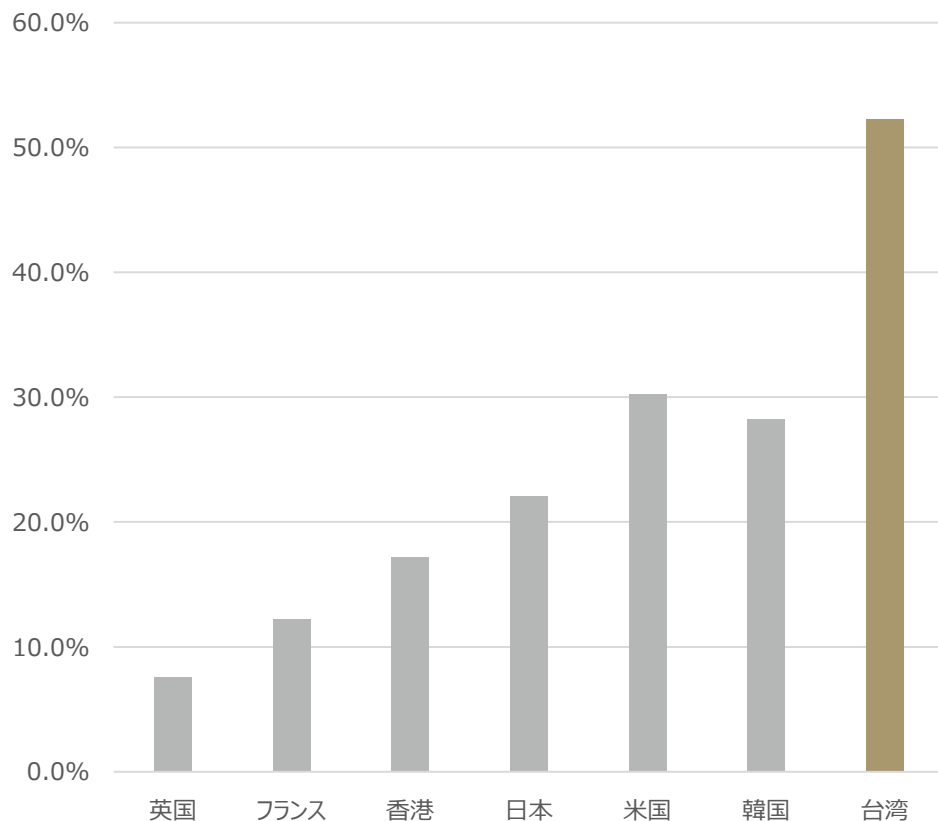
2

台湾市場の 5つの魅力

- 1 ITの未来に投資するなら台湾
- 2 高い技術で世界のブランドを支える
- 3 台湾には世界一の製品・企業がある
- 4 強い華人ネットワークと高い親日度
- 5 高い配当利回り

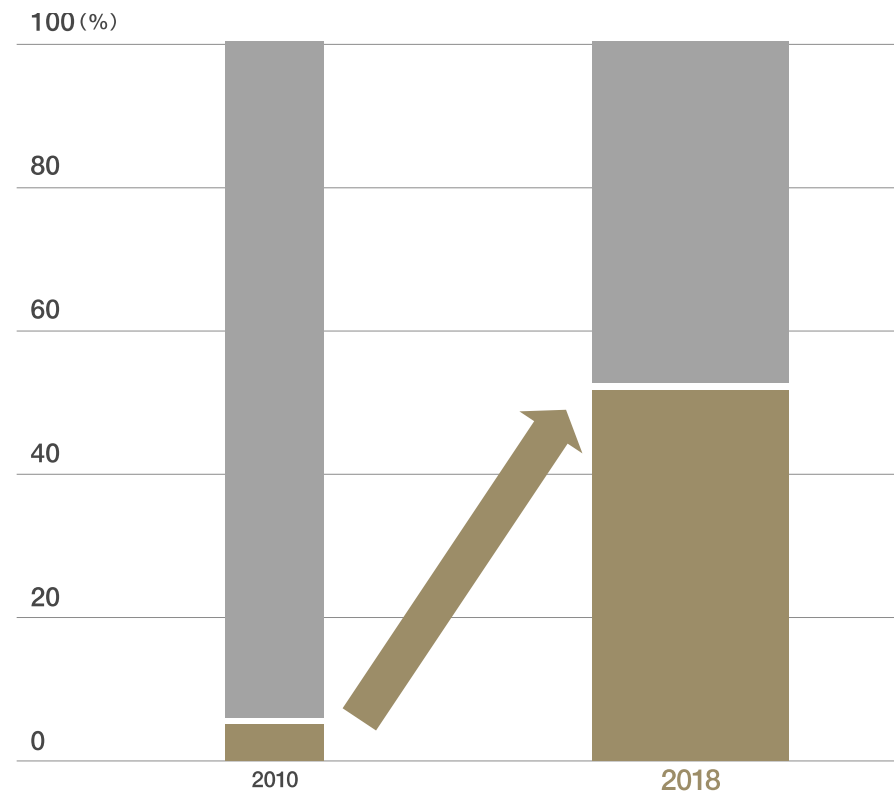
2 台湾市場の5つの魅力 | ①ITの未来に投資するなら台湾 |

台湾は証券市場に占める IT産業の時価総額比率が高い



出所：台湾証券取引所、Bloombergよりバリュークリエイト作成
(2018年12月末時点)

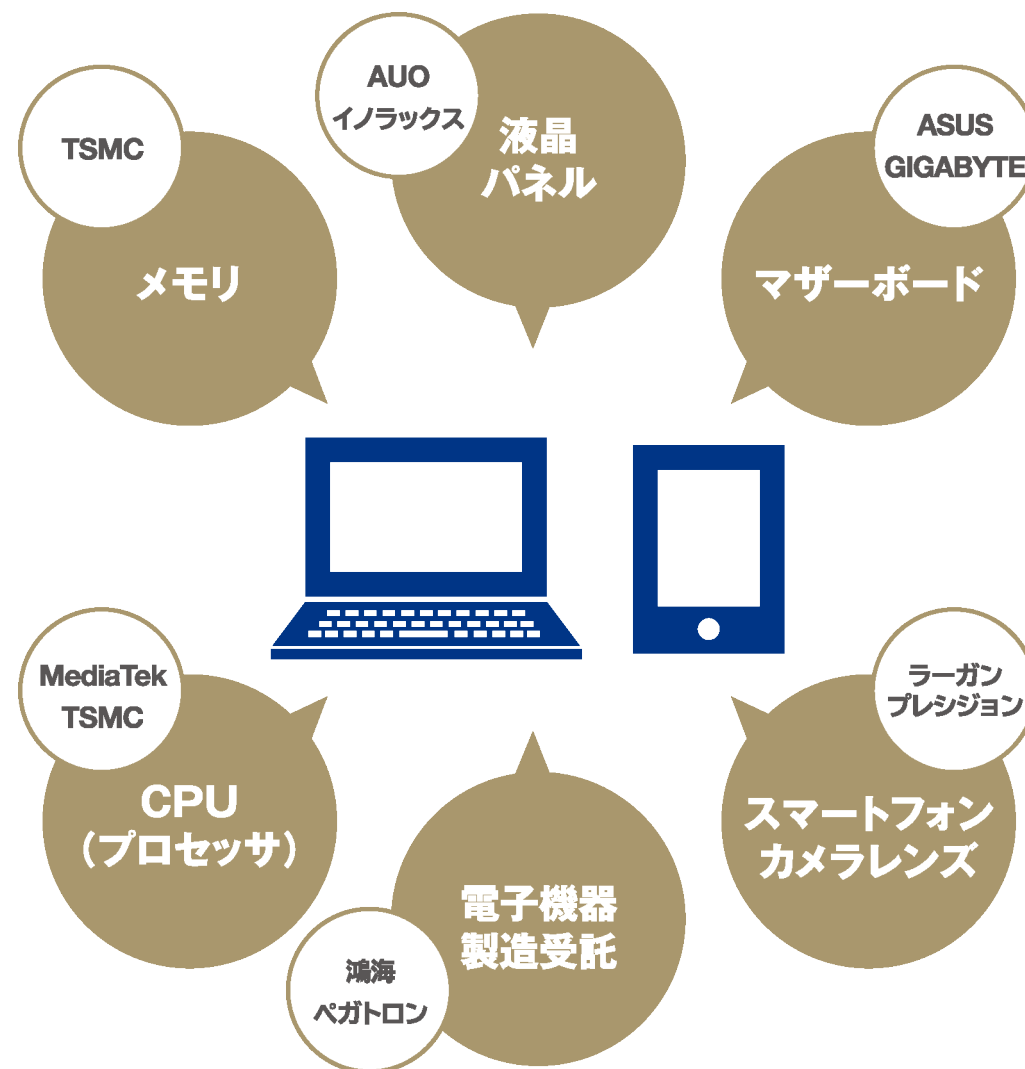
過去25年間で 台湾市場のIT比率は大きく上昇



出所：台湾証券取引所データよりバリュークリエイト作成

2 台湾市場の5つの魅力 | ①ITの未来に投資するなら台湾

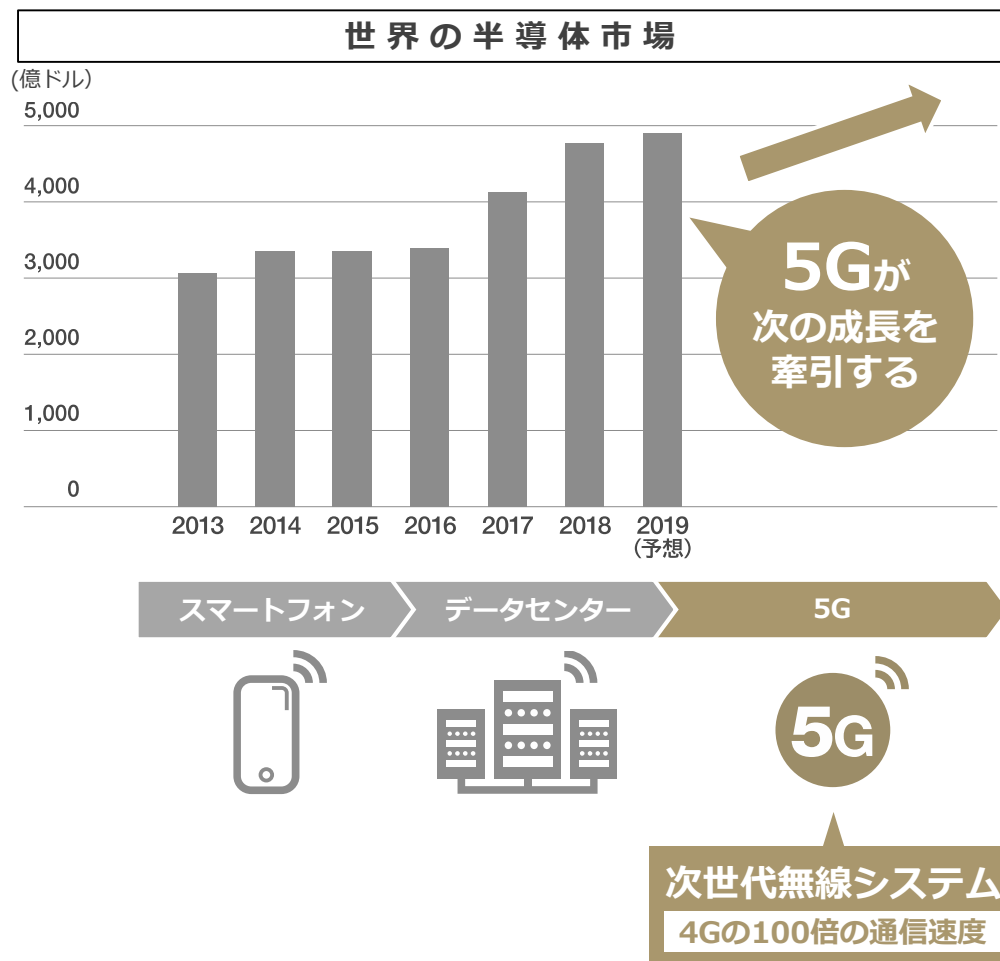
PC・スマホも
台湾製部品で成り立っている



出所：各種資料よりバリュークリエイイト作成

2 台湾市場の5つの魅力 | ①ITの未来に投資するなら台湾

ITの次の波「5G」の恩恵を受ける台湾企業

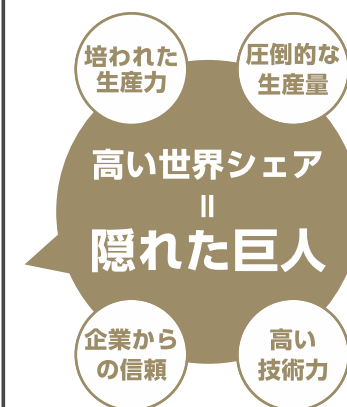
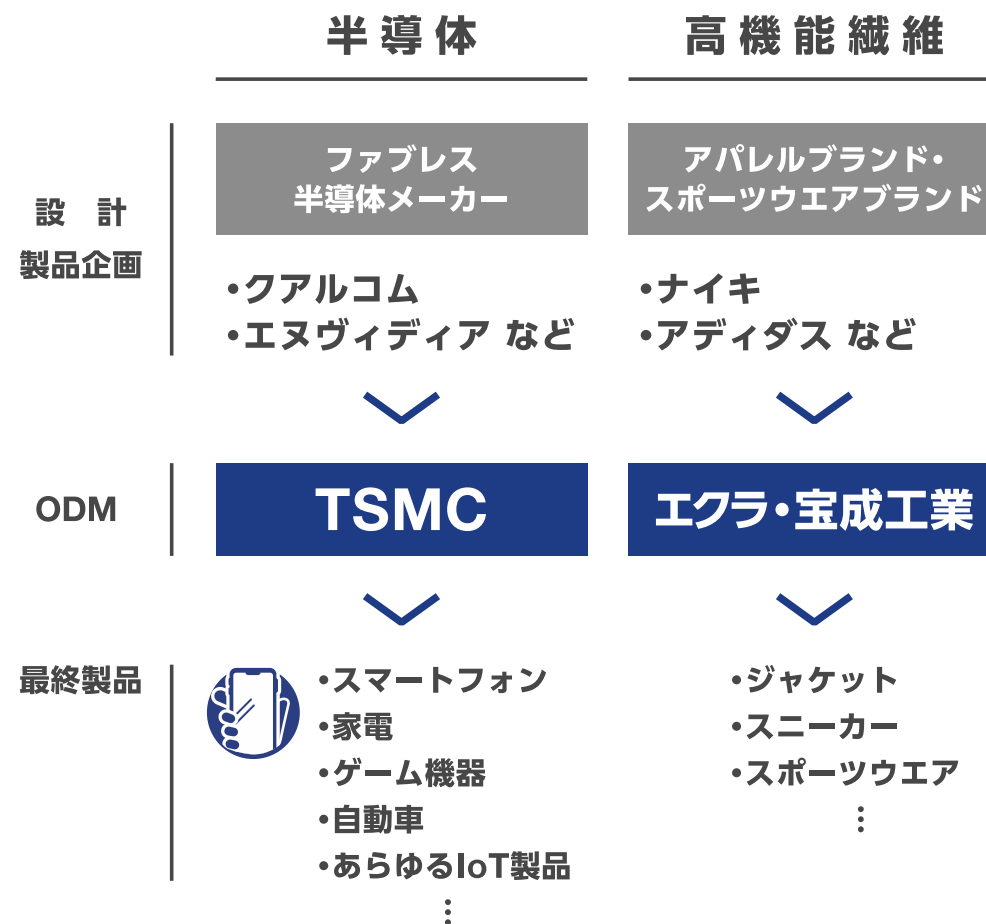


2 台湾市場の5つの魅力 | ②高い技術で世界のブランドを支える

半導体のTSMC、アパレルのエクラ、
スポーツシューズの宝成工業、
自転車のジャイアントなど、
台湾企業は高い技術を誇るOEM/ODMで
世界のブランドを支えています。

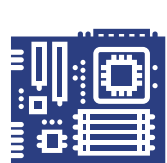
- OEM(Original Equipment Manufacturing) :
委託者（他社ブランド）の製品を製造すること
- ODM(Original Design Manufacturing) :
委託者（他社ブランド）の製品を設計・製造すること

出所：各種資料よりバリュークリエイイト作成



2 台湾市場の5つの魅力 | ③台湾には世界一の製品・企業がある

台湾企業の製品が現代社会を支えている



マザーボード

89%



ケーブルテレビ
受信機

80%



DSLモデム

66%



ゴルフクラブ
ヘッド

81%



即席めん

24%



ノートPC

83%



無線LAN装置

67%



高級自転車
(250USドル以上)

33%



機能性
繊維素材

51%



携帯装置
レンズ

50%

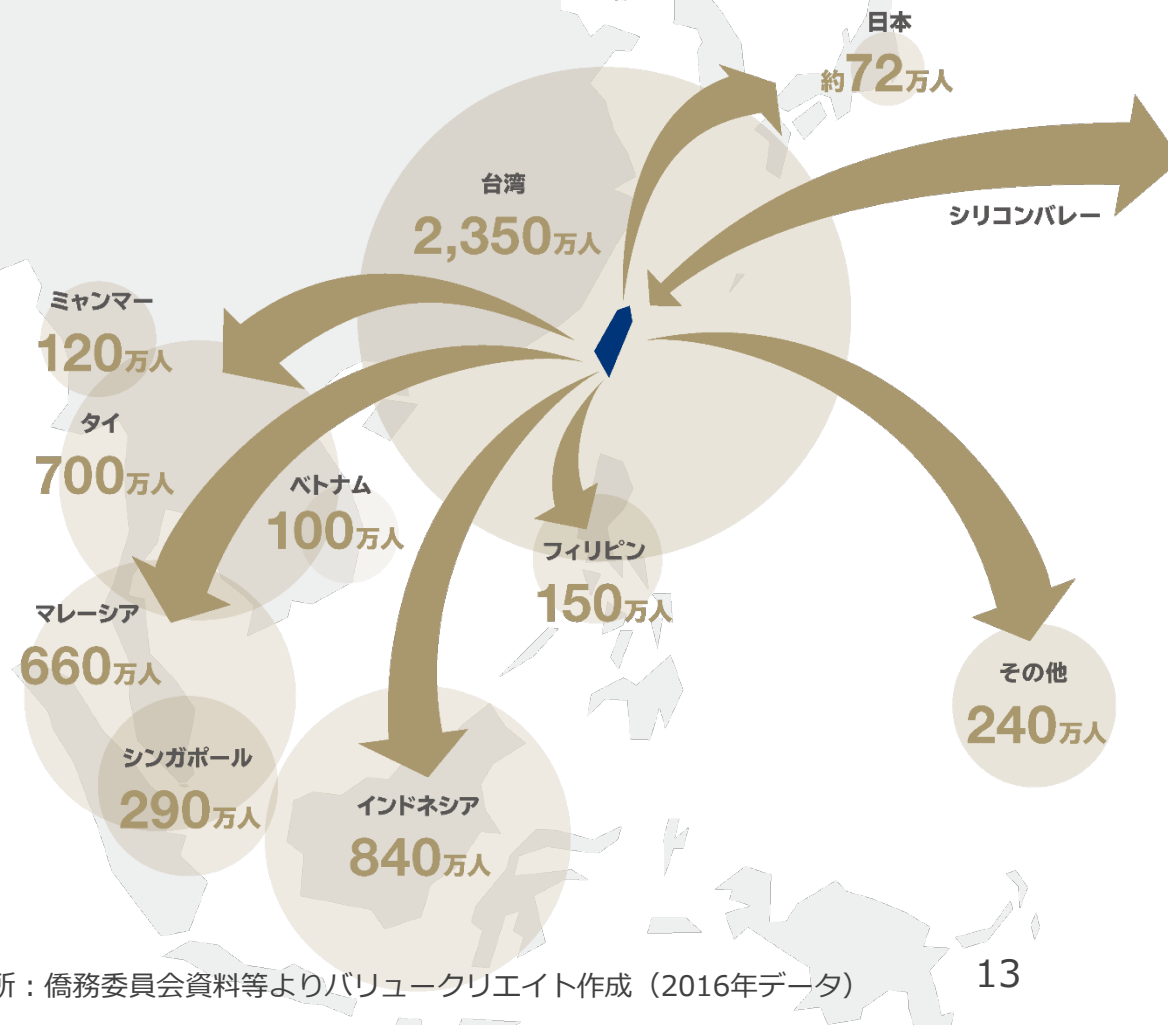
注：金額または数量シェア（2017年データ）

出所：台湾經濟部技術処IT IS資料よりバリュークリエイイト作成

2 台湾市場の5つの魅力 | ④強い華人ネットワークと高い親日度

中国・アジアを軸に 世界で活躍する台湾企業

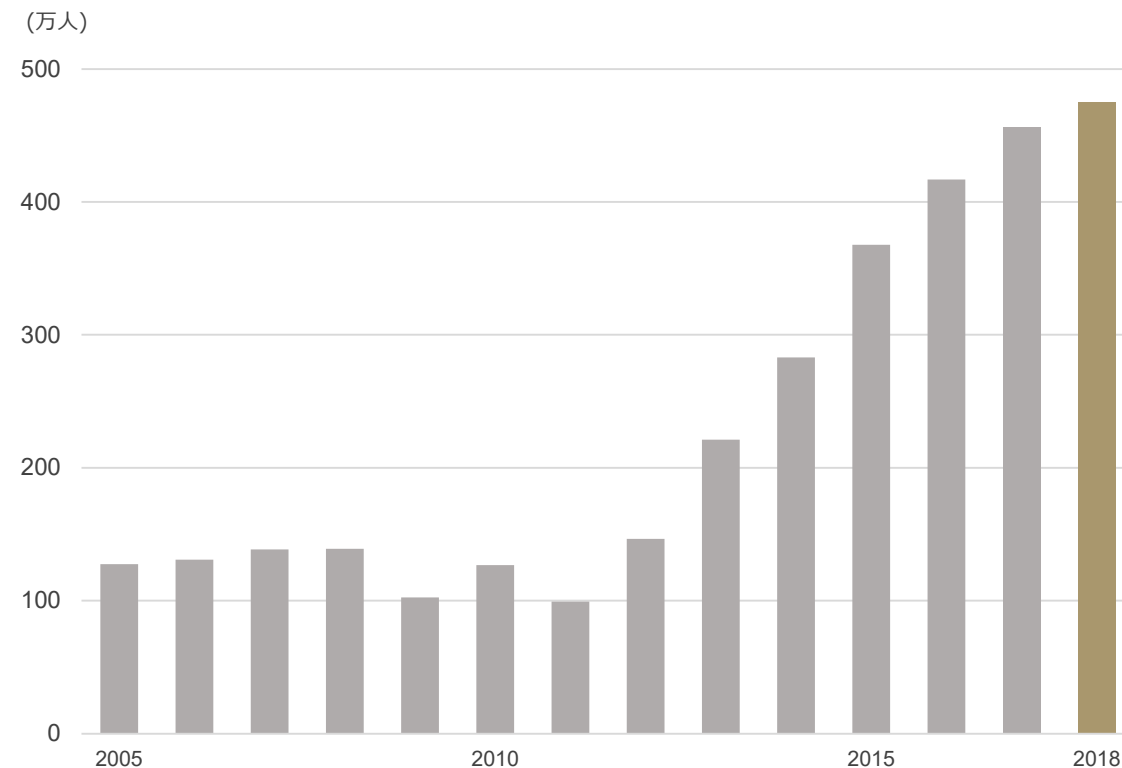
世界の生産拠点である中国やASEAN、インドなどのアジア諸国との地理的な近さ、世界に広がる中国人ネットワークを活かして、グローバルに生産、販売を展開しています。



2 台湾市場の5つの魅力 | ④強い華人ネットワークと高い親日度

- 高い親日度
- 東日本大震災での義援金世界一
- 日本映画の人気（「君の名は。」、ジブリなど）
- 増加する観光客（日・台湾とも）
- 企業同士のつながりも深い

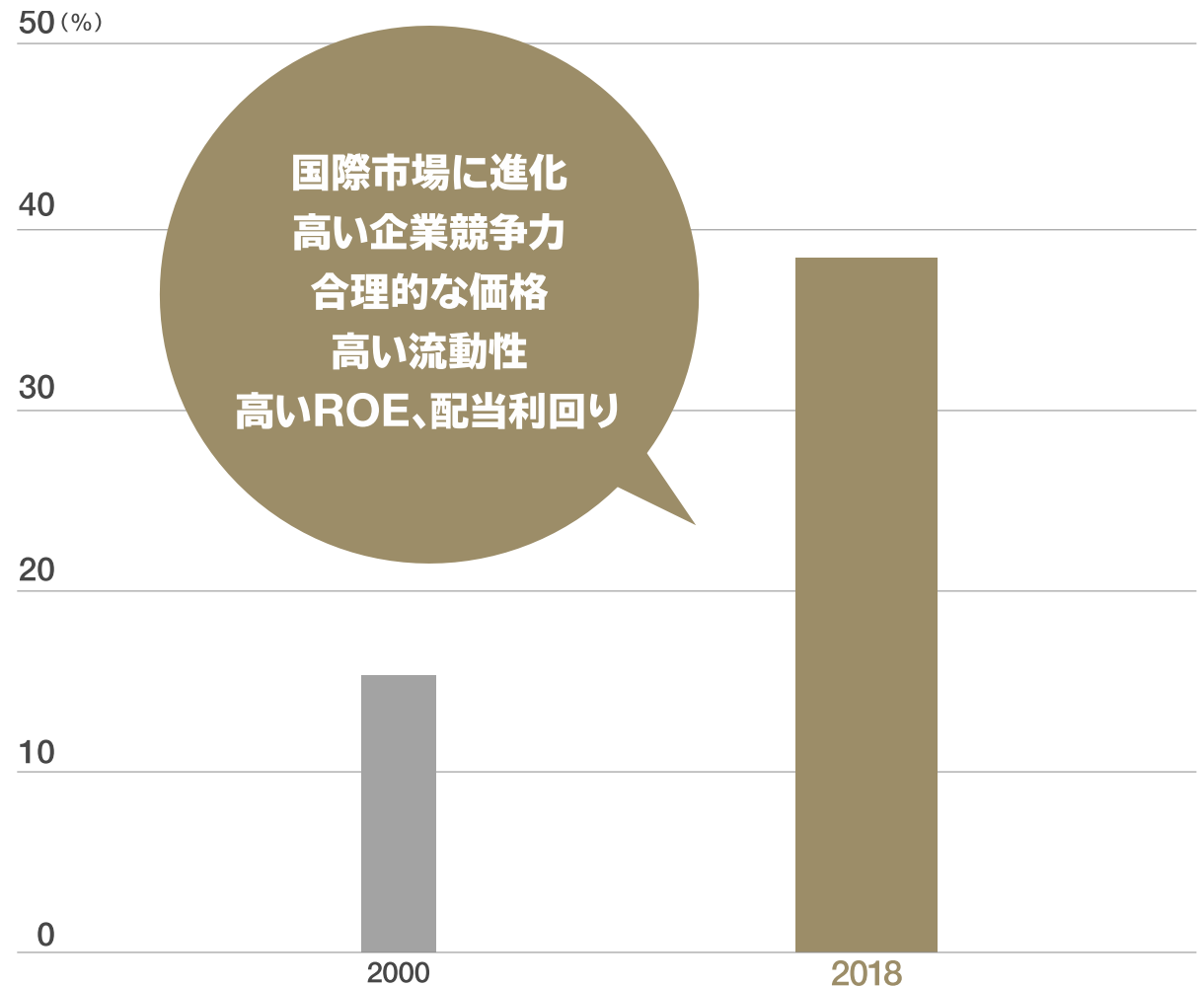
増加する訪日台湾人



出所: 日本政府観光局よりバリュークリエイイト作成

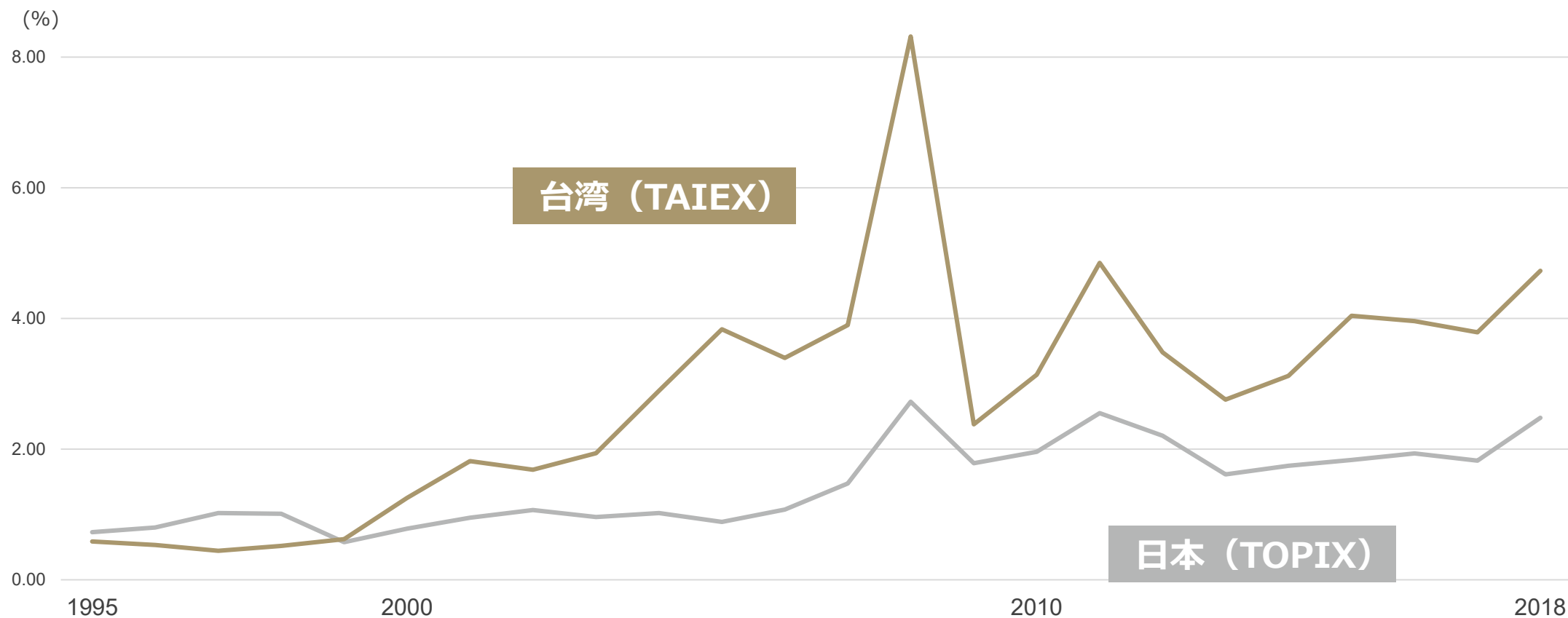
2 台湾市場の5つの魅力 | ⑤高い配当利回り

海外投資家持ち株比率は
大幅に上昇



2 台湾市場の5つの魅力 | ⑤高い配当利回り

日本と比べて高い配当利回り

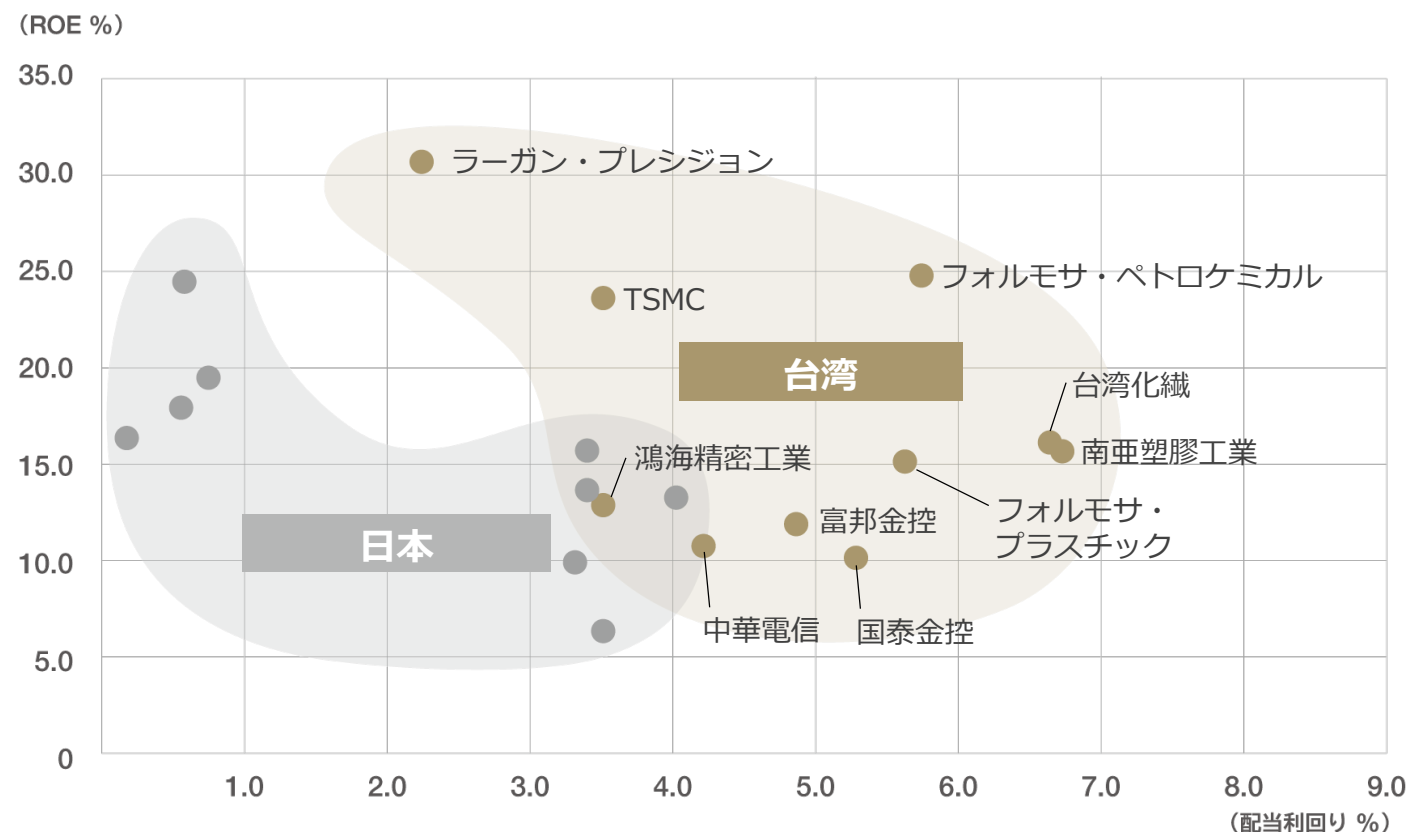


出所: Bloombergよりバリュークリエイト作成

2 台湾市場の5つの魅力 | ⑤高い配当利回り

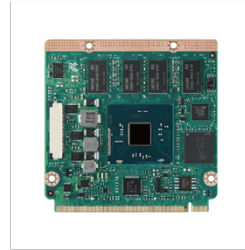
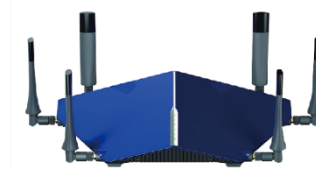
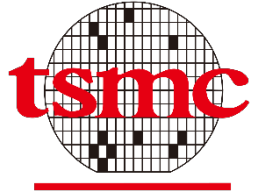
台湾企業のROEと配当利回りは高い

台湾/日本の時価総額トップ10企業のROEと配当利回り



出所: Bloombergよりバリュークリエイト作成

※2018年度に上場した日本企業については除外しております。



3

アジア・世界を
リードする
台湾企業

3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 時価総額上位10社 |

台湾市場の時価総額トップ10

	ティッカー	銘柄名	業種	時価総額 (兆円)
1	2330	台湾積体回路製造 (TSMC)	電 子	21.1
2	6505	台塑石化 (フォルモサ・ペトロケミカル)	石油化学	3.7
3	2317	鴻海精密工業 (ホンハイ・プレシジョン)	電 子	3.5
4	2412	中華電信 (チョンホア・テレコム)	通 信	3.2
5	1301	台湾塑膠工業 (フォルモサ・プラスチック)	化 学	2.3
6	1326	台湾化纖 (フォルモサ・ケミカルズ&ファイバー)	化 学	2.2
7	1303	南亜塑膠工業 (ナンヤ・プラスチック)	化 学	2.2
8	2882	国泰金控 (キャセイ・フィナンシャル)	金 融	2.1
9	2881	富邦金控 (フボン・フィナンシャル)	金 融	1.7
10	3008	大立光電 (ラーガン・プレシジョン)	電 子	1.6

参考 日本企業の時価総額

トヨタ	20.9兆円
NTTドコモ	9.3兆円
ソフトバンクG	8.0兆円
キーエンス	6.8兆円

出所:Bloomberg

※1台湾ドル=3.6円で計算/2018年12月末時点

3 アジア・世界をリードする台湾企業 | Nikkeiアジア300 |

日本経済新聞社と
Nikkei Asian Reviewによる
アジアの有力企業「Asia300」には
台湾の40社が選出

社名	業種	社名	業種
台湾積体回路製造（T S M C）	半導体	遠東新世紀	繊維
鴻海（ホンハイ）精密工業	情報機器	聯華電子（U M C）	半導体
中華電信	通信	研華（アドバンテック）	情報機器
国泰金融控股	金融	宝成工業	衣料
富邦金融控股	金融	台湾水泥（台湾セメント）	セメント
台湾塑膠工業（台湾プラスチック）	化学	儒鴻企業（エクラット・テキスタイル）	繊維
台達電子工業（デルタ電子）	電子機器	豊泰企業	衣料
聯発科技（メディアテック）	半導体	群創光電（イノラックス）	電子機器
大立光電（ラーガン・プレシジョン）	電子部品	南亜科技（ナンヤ・テクノロジー）	半導体
中国信託金融控股	金融	友達光電（A U O）	電子機器
統一企業	食品・流通	巨大機械工業（ジャイアント）	自転車
中国鋼鉄	鉄鋼	仁宝電腦工業（コンパル）	情報機器
日月光半導体製造（A S E）	半導体	光宝科技（ライトン）	電子機器
兆豊金融控股	金融	長栄航空（エバー航空）	航空
可成科技（キャッチャー・テクノロジー）	金属部品	宏達国際電子（H T C）	通信機器
華碩電腦（エイスース）	情報機器	中華航空	航空
広達電腦（クアンタ）	情報機器	裕隆汽車製造	自動車
和泰汽車	自動車	長栄海運	海運
和碩聯合科技（ペガトロン）	情報機器	上銀科技（ハイウィン・テクノロジーズ）	機械部品
正新橡膠工業	自動車部品	宸鴻光電科技（T P K）	電子部品

出所：日本経済新聞

3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 高いESG評価

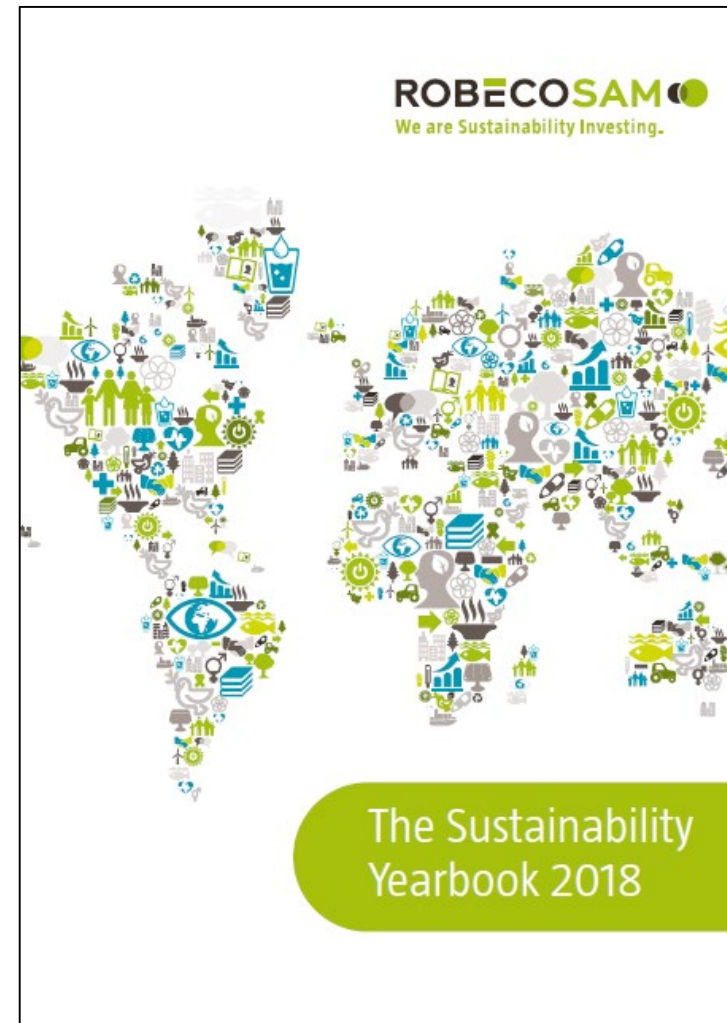
高い国際評価 RobecoSAMの サステナビリティイヤーブック2018で 4社がゴールド受賞

スイスのロベコSAM社の世界主要企業のサステナビリティ／ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組み評価における、2018年のゴールド受賞企業数

日本5社

台湾4社

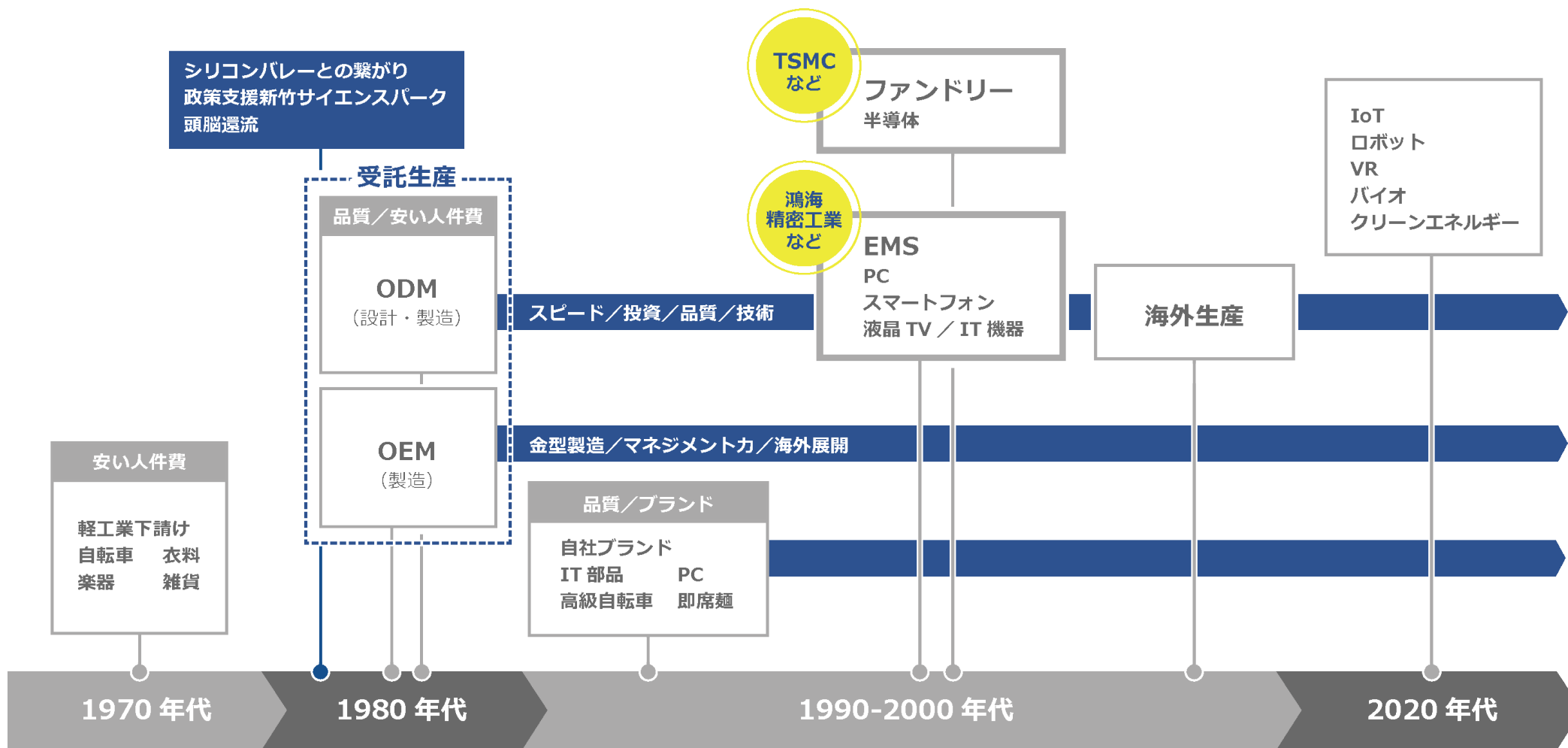
TSMC（台湾積体回路製造）
デルタ電子（台達電子工業）
AUO（友達光電）
ASE（日月光半導体製造）



出所：HP

3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 台湾企業の高度化

「産業の空洞化」に陥らず、「産業の高度化」を実現



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 強みと課題・対応策① |

強み

迅速な意思決定

柔軟性

強いリーダーシップ

世界的なネットワーク

モノづくり力（大量生産）

起業家精神

課題

中国製造業の台頭/地政学的リスク

ソフト・基礎的な研究開発力

カリスマ創業者の高齢化

対応策

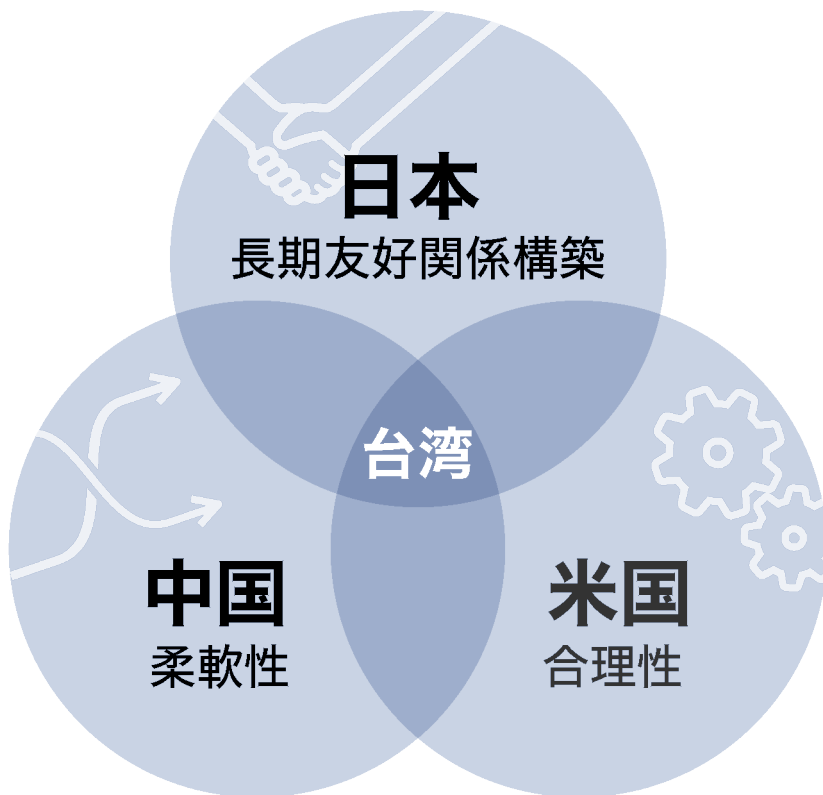
海外展開の拡大（インド、ベトナム等）

アライアンス、VR、IoT、ロボット、
バイオ技術に投資

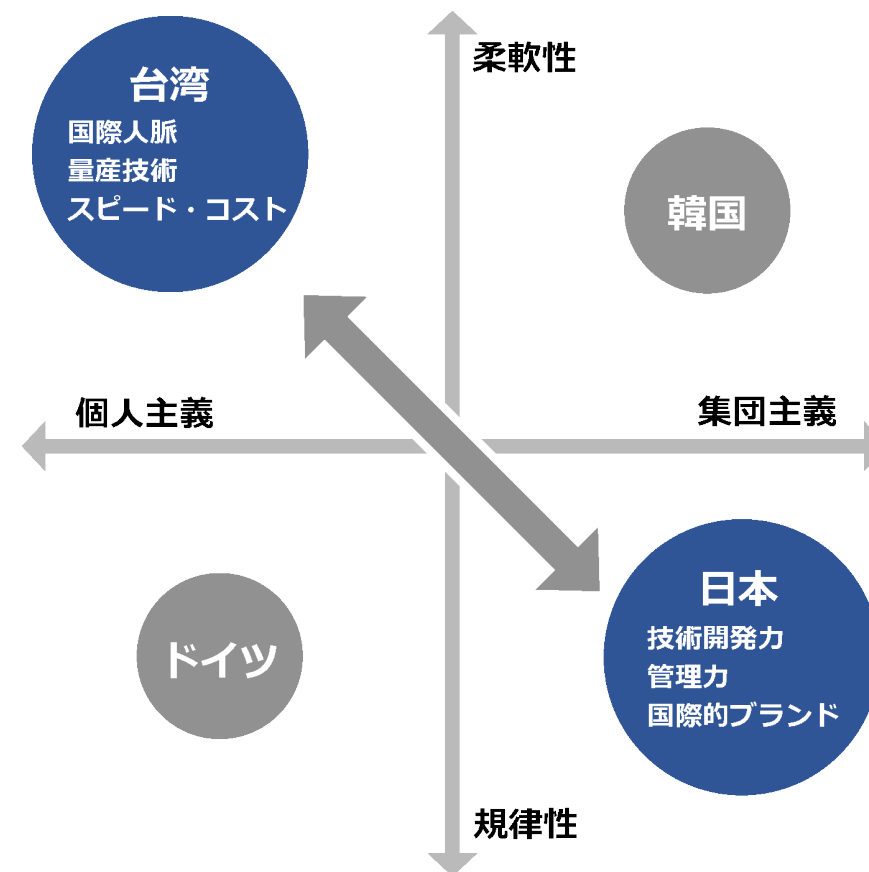
世代交代、次世代経営者育成

3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 強みと課題・対応策② |

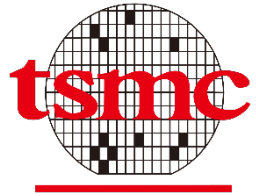
台湾企業は日中米の良いところを兼ね備えている



台湾と日本は良い補完関係を構築できる



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | TSMC (台湾積体電路製造公司)



- 半導体受託生産で世界シェア56%と圧倒的なNo.1。
- 時価総額21兆円と日本トップのトヨタと同規模。
(2018年12月末時点)
- 業績調整局面だが、今後5Gの普及が追い風となる。



株価

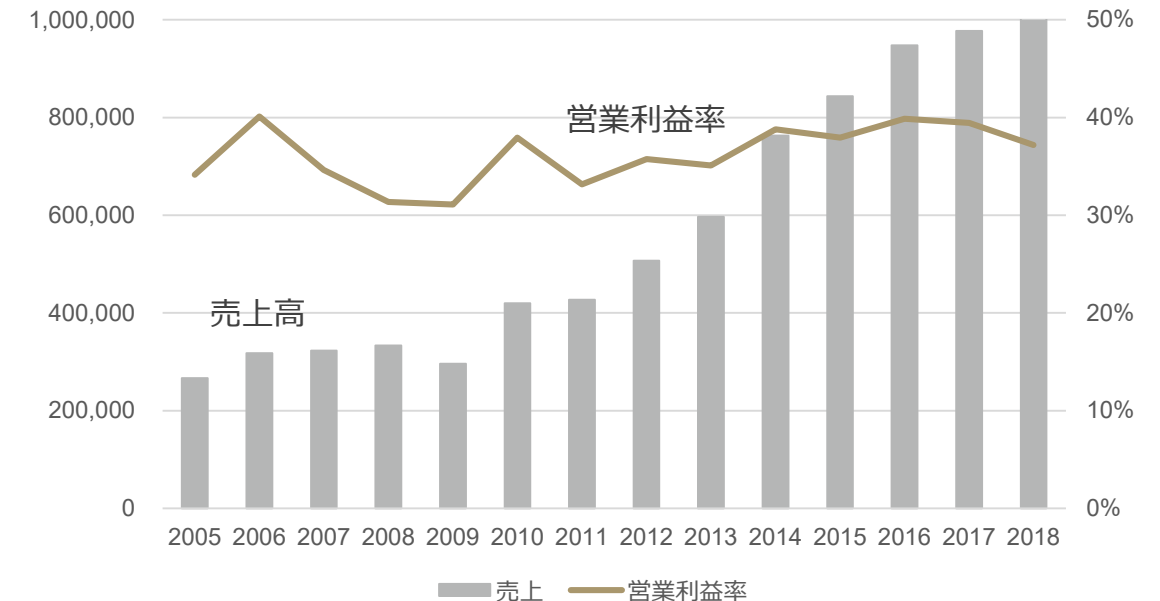
(台湾ドル)



出所：Bloomberg等よりバリュークリエイイト作成

売上高と営業利益率

(百万台湾ドル)



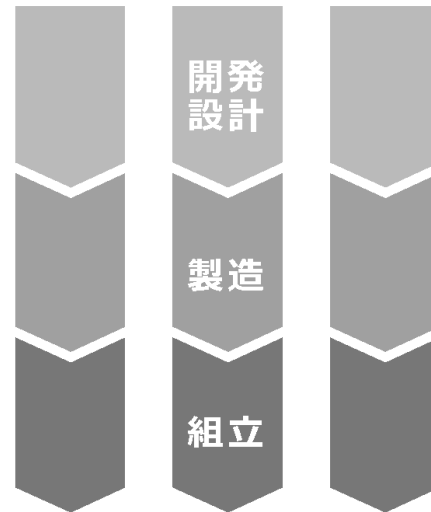
3 アジア・世界をリードする台湾企業 | TSMC (台湾積体電路製造公司)



- 世界に先駆けて水平分業型の半導体受託生産で成功
- AI、自動運転、IoT、ブロックチェーンなどのIT革命が成長を牽引
- 先端技術で他社を大きくリード
- 5Gの商用化が進む今後は更なる成長が期待される
- 創業者のモリス・チャン氏はForbes誌で「アジアで最も優れた経営者」に選出

垂直統合型モデル

サムソンなど



水平分業型モデル

クアルコムなど



ファブレス

開発・設計のみ

ファウンドリー

製造のみ

TSMC など

3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 鴻海（ホンハイ）精密工業



- EMS（電子機器の受託生産を行うサービス）の世界トップ企業。（売上高16兆円）
- シャープとの資本・業務提携により、技術力を強化。
- 2018年度第3四半期営業利益は前年同期比10%減。



株価

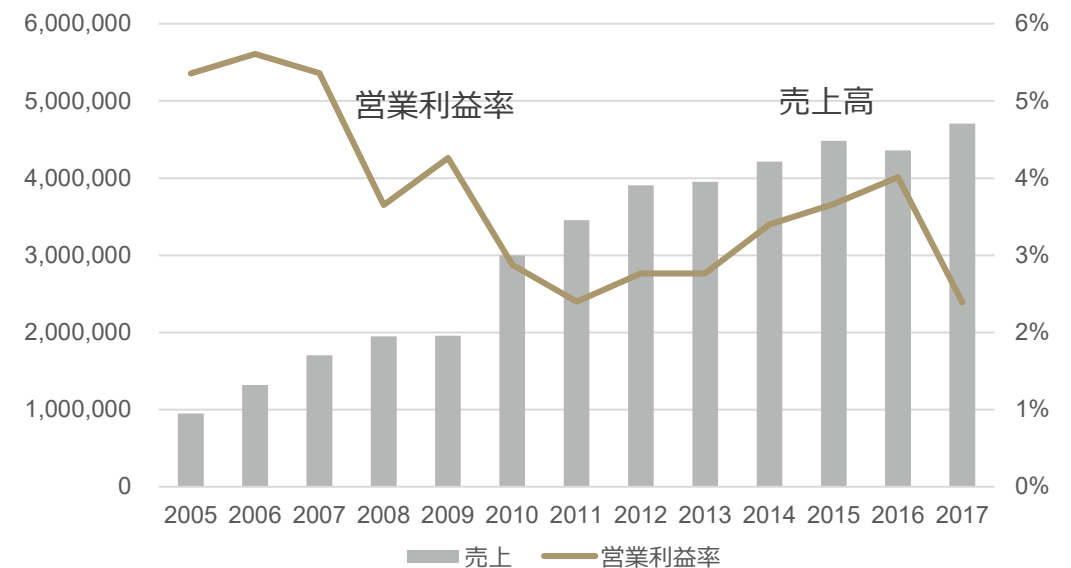
(台湾ドル)



出所：Bloomberg等よりバリュートリェイト作成

売上高と営業利益率

(百万台湾ドル)

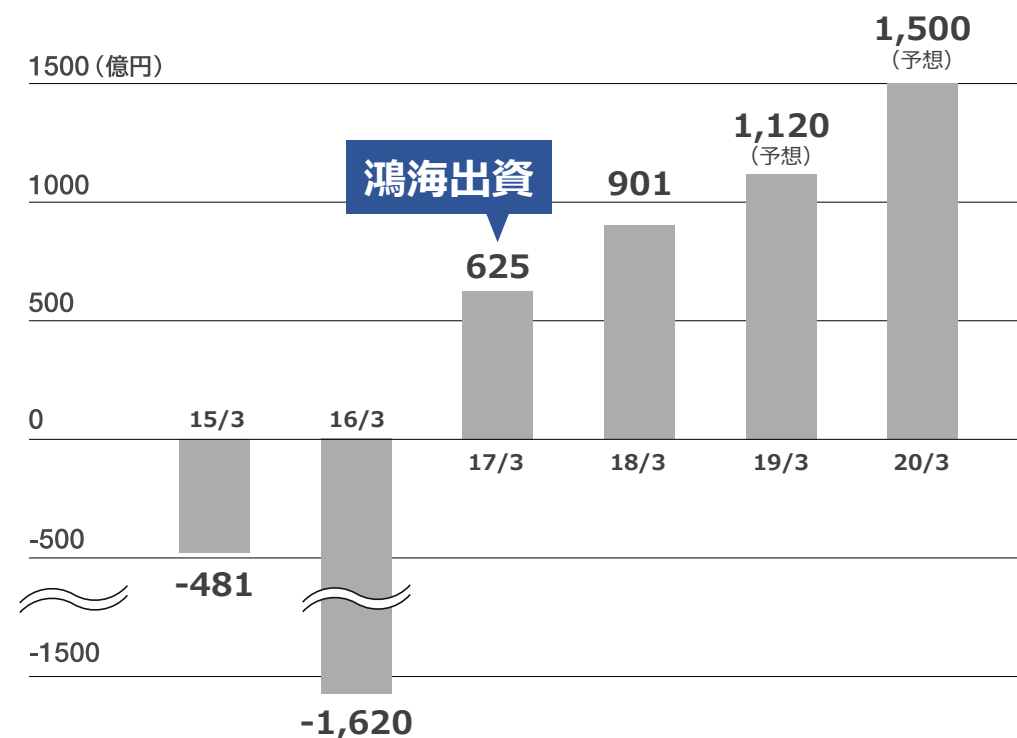


3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 鴻海（ホンハイ）精密工業



- スマートフォンや薄型テレビなどの電子機器を受託生産する世界最大手
- 世界の有力メーカーの製品を生産
- 従業員数100万人以上で製造業で世界最大規模
- 迅速な意思決定、金型技術に支えられた品質、実行スピードで突出
- シャープの約66%を保有、自主再建を支援、業績回復、東証1部復帰を実現
- 短期的には、中国貿易摩擦、中国での人件費高騰、スマートフォン成長鈍化の影響が懸念される

シャープの営業利益は回復基調に転じた



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | ラーガン・プレシジョン |



- スマートフォンに搭載されるカメラ用光学レンズ製造の世界最大手。
- アップル社のiPhoneなどにも搭載。
- 2018 Asia300実力企業ランキング2年連続首位。
- 非球体レンズの開発・製造における世界主要企業。
- 2018年度第3四半期営業利益は前年同期比0.7%増。



株価

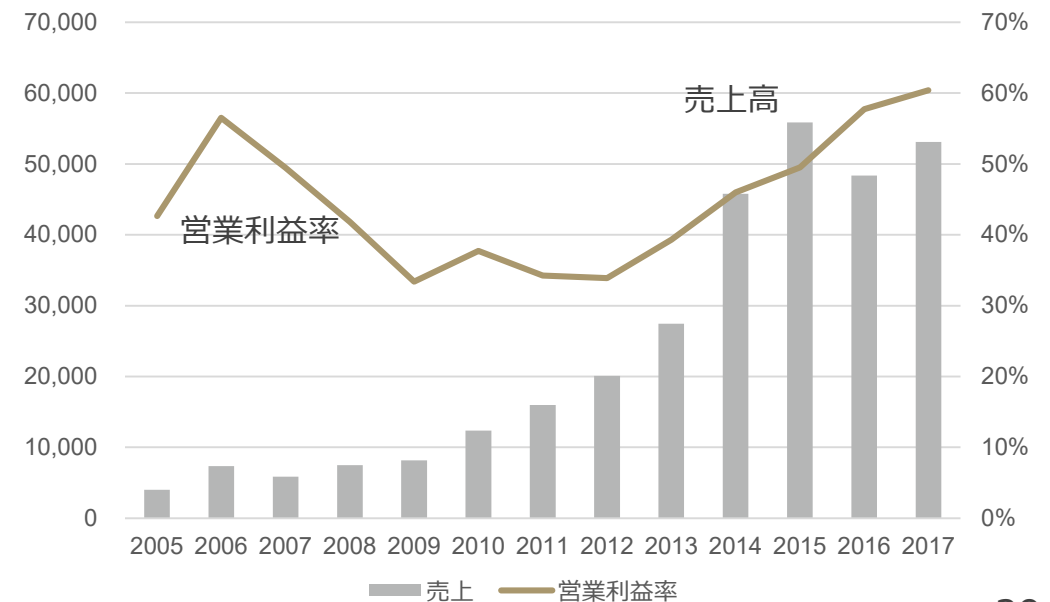
(台湾ドル)



出所：Bloomberg等よりバリュークリエイイト作成

売上高と営業利益率

(百万台湾ドル)



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | ラーガン・プレシジョン |

LARGAN

大立光電

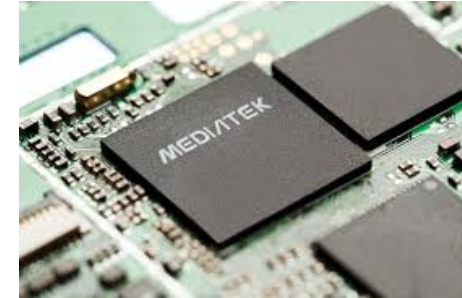
- スマートフォン向けのカメラレンズで世界シェア3割、米アップルが主要顧客
- カメラメーカーにレンズを供給していたが、カメラのデジタル化の波に乗り、成長
- 高付加価値、高い収益性（営業利益率50%前後）を実現。
- 短期的には、スマートフォン成長鈍化の影響が懸念される



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | メディア・テック |



- 世界を代表するファブレス半導体メーカー。
- モバイル機器に強いが、アリババとの提携など、新たな展開を進める。
- 2018年12月には5Gに対応した新しいモデムチップを発表。

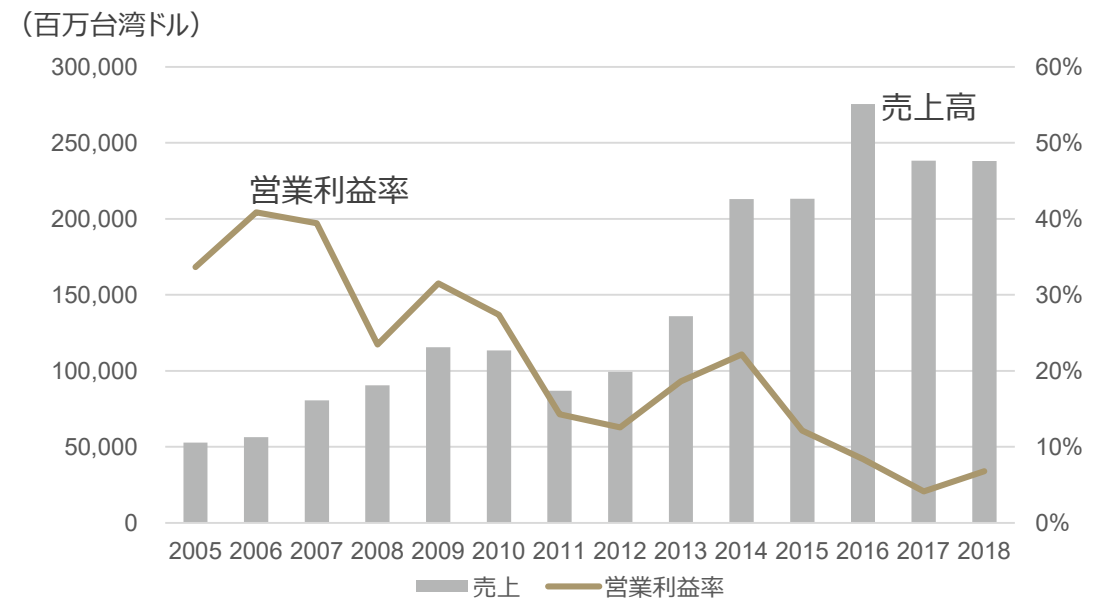


株価



出所：Bloomberg等よりバリュークリエイト作成

売上高と営業利益率



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | メディア・テック |

MEDIATEK

everyday genius

- コネクテッドデバイス（モバイル端末、自動運転、IoTなど）向け半導体の世界的リーダーで、年間15億台以上の機器で使われている。
- 低価格スマートフォン向け半導体向けから、IoT分野にシフトを進める。
- AIスピーカー向け半導体で推定シェア7割、アマゾン「エコー」にも搭載。新たに、アリババ（中国）と提携。
- TSMCのCEOも務めた蔡CEOがリード
- 足元で利益率は改善



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | ハイウィン・テクノロジーズ |



- 精密機械部品（ボールねじ、リニアガイドウェイ、リニアモータなど）の専門メーカー。
- 売上高の3割以上は半導体などのテクノロジー業界。
- ボールネジなど直動機器の生産で世界2位、急速に追随。
- 2018年度第3四半期営業利益は前年同期比191%増。



株価

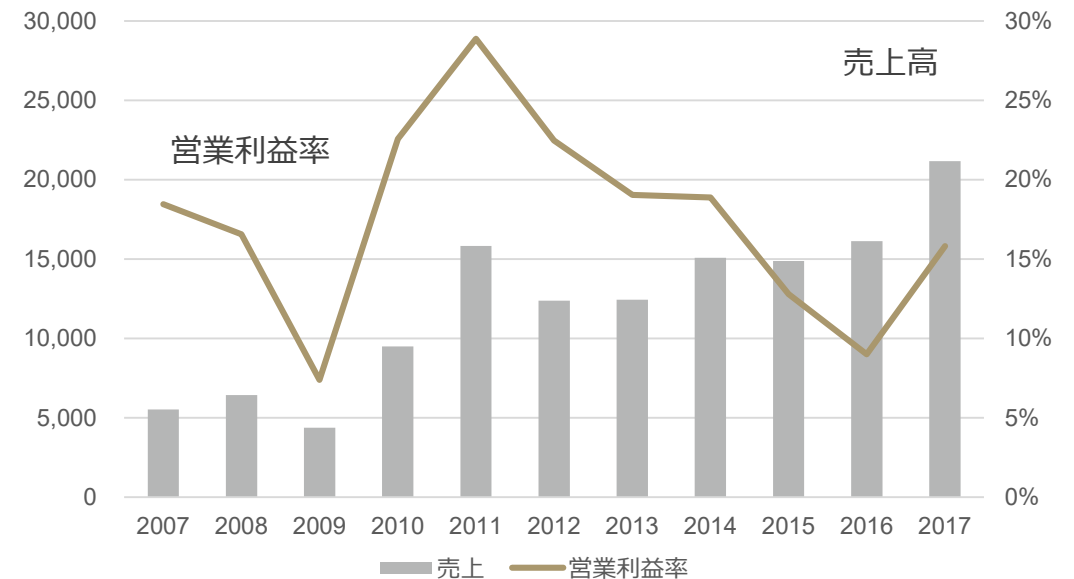
(台湾ドル)



出所：Bloomberg等よりバリュークリエイイト作成

売上高と営業利益率

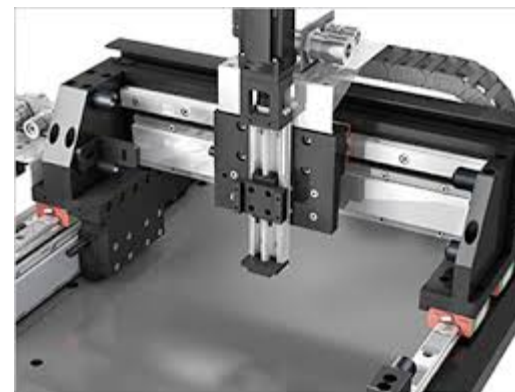
(百万台湾ドル)



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | ハイウィン・テクノロジーズ |



- 直動軸受（ボールねじ、リニアガイドウェイなど）メーカー。日本のTHK、NSKなどを追いつけている
- ハイウィンは、顧客が「ハイテクで勝つ（ウィン）ように」との思いを込められている
- 世界的な需給逼迫で、これまで参入できなかった日本企業からも受注に成功
- 長期経営で、不況局面でもマーケティング、R&D投資を継続
- 太陽光発電関連事業は苦戦

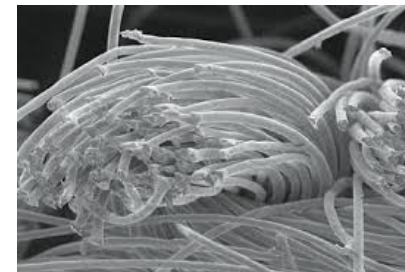


出所：各種資料よりバリュークリエイト作成

3 アジア・世界をリードする台湾企業 | エクラ・テキスタイル |

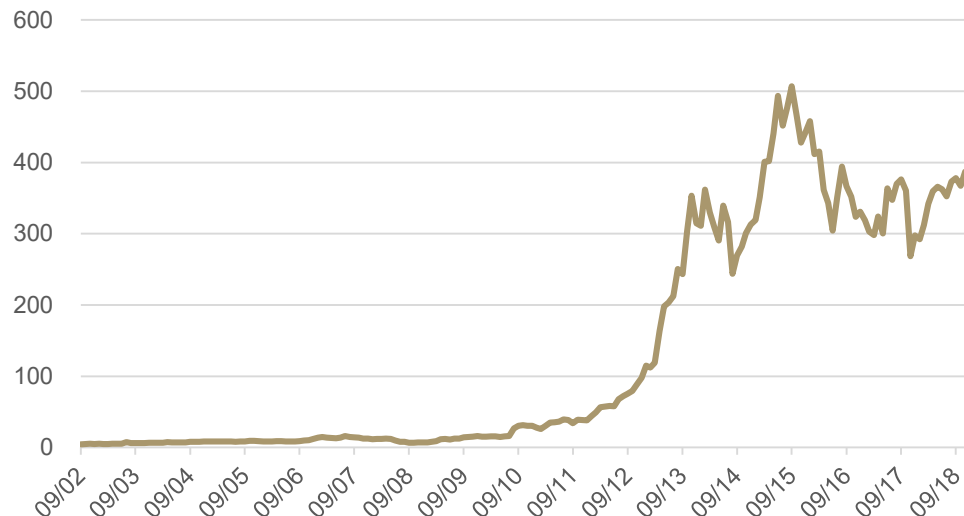
Eclat

- スポーツアパレル受託生産世界一。
- ナイキを始め世界のトップブランドに供給。
- 生産拠点の脱中国化は2016年に完了。今後も中国外への投資を拡大。
- 高いROE（直近5年は20-40%）、高い配当性向（直近5年は64-85%）。
- 2018年度第3四半期営業利益は前年同期比32%増。



株価

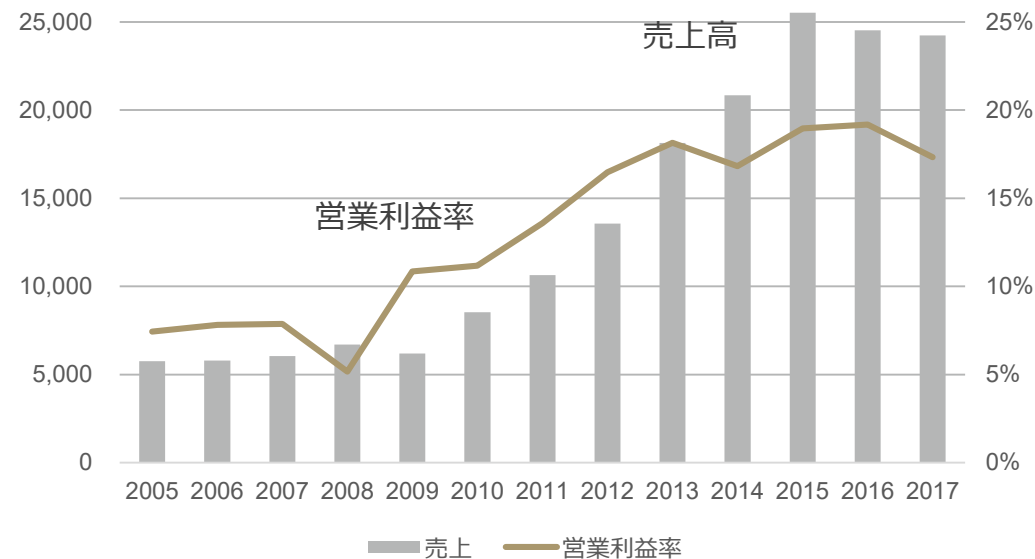
(台湾ドル)



出所：Bloomberg等よりバリュークリエイイト作成

売上高と営業利益率

(百万台湾ドル)



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | エクラ・テキスタイル |

Eclat

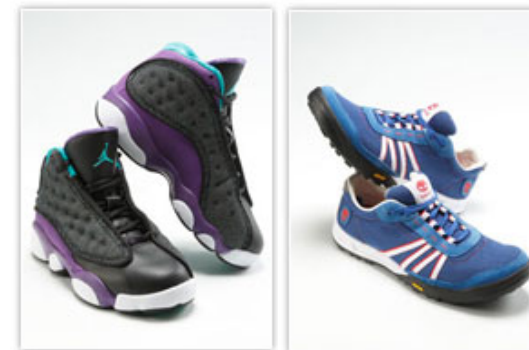
- アディダス、ナイキ、ユナイテッドアローズ、ギャップ、J.Cペニー、 lululemon (ヨガブランド)、 ビクトリアズシークレット (下着) などのトップブランドに納入
- 市場の変化に迅速に対応して、ECも強化、アマゾンにも供給
- 2016年に生産拠点の脱中国化を果たし、東南アジアへ展開
- 米中摩擦の過熱が追い風となり、脱中国を迫られるブランド企業からの関心が高まっている



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 宝成工業



- 1969年創業の世界最大の製靴メーカー。
- 3億足を超えるスポーツシューズを生産し、シェアは20%。
- 世界のブランドが顧客。
- 鴻海（ホンハイ）グループに次ぐ台湾第2の製造メーカー。
- 2018年度第3四半期営業利益は前年同期比20%減。

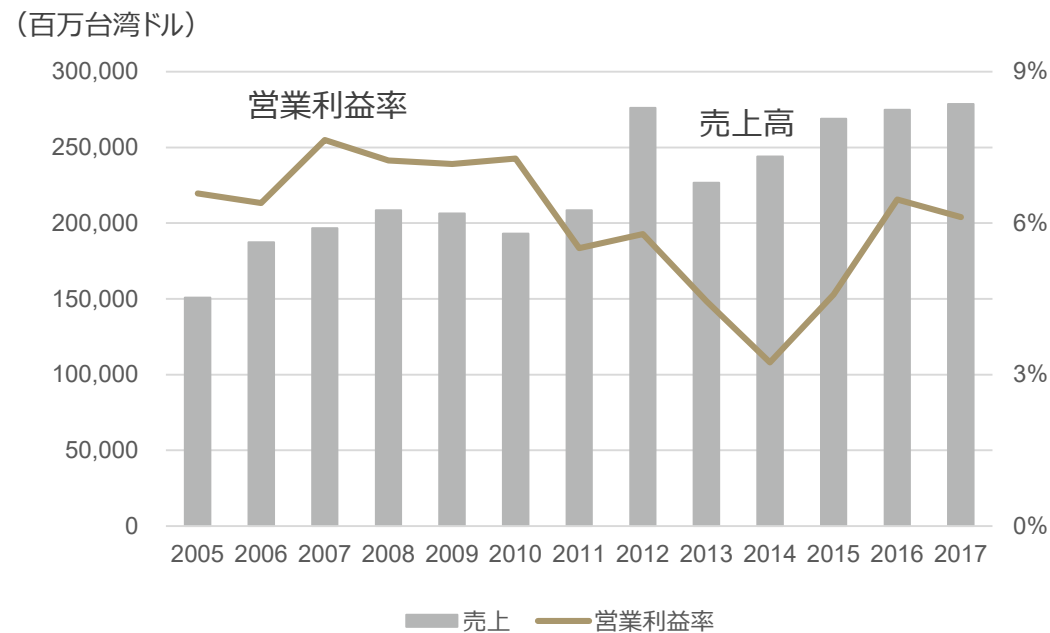


株価



出所：Bloomberg等よりバリュークリエイト作成

売上高と営業利益率



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 宝成工業



- スポーツシューズ以外にもスポーツウェア、スポーツアクセサリーの生産
- NIKEやAdidas、Reebok、アシックス、プーマなどのブランドのある企業を顧客に持つ
- 中国への製造依存を減らすため、ベトナム、ミャンマー、インドネシアなど東南アジアに製造拠点を拡大し、29%だった中国生産比率を17%まで縮小。今後も生産エリアを分散してリスク回避を狙う



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | ジャイアント |



- 世界最大規模の自転車メーカー。
- 台湾を代表する最終消費財の世界ブランド。
- 2018年度第3四半期営業利益は前年同期比20%増。



株価

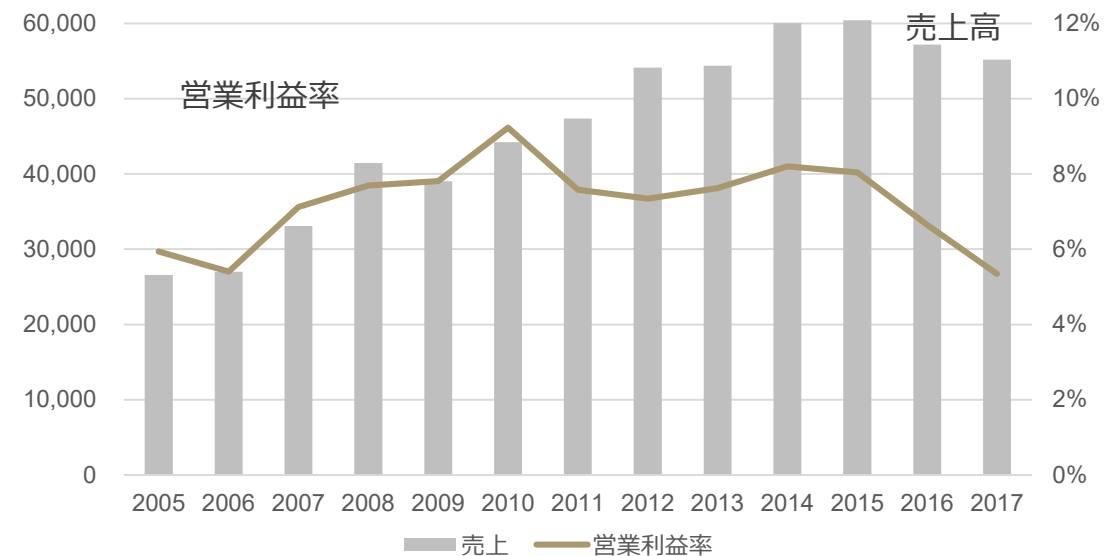
(台湾ドル)



出所：Bloomberg等よりバリュートリート作成

売上高と営業利益率

(百万台湾ドル)



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | ジャイアント |



- 海外企業の製造下請けからスタート、製品開発、継続的な品質向上、優れたマーケティング戦略により、世界トップ企業に成長
- 世界を代表する自転車レースでトップクラスの成績
- 自転車部品のシマノ（日本）と良好な関係
- 自転車文化を台湾から世界に広げる。日本でもしまなみ海道を創業者がサイクリング、レンタルサイクリング店をオープン



3 アジア・世界をリードする台湾企業 | 統一企業

統一グループ/統一企業



- 統一グループは台湾を代表する食品・流通グループ。
- 統一企業は台湾の即席麺で50%のシェア、中国での即席麺、ペットボトル茶でもトップクラス。
- 2018年度第3四半期営業利益は前年同期比15%増。



株価

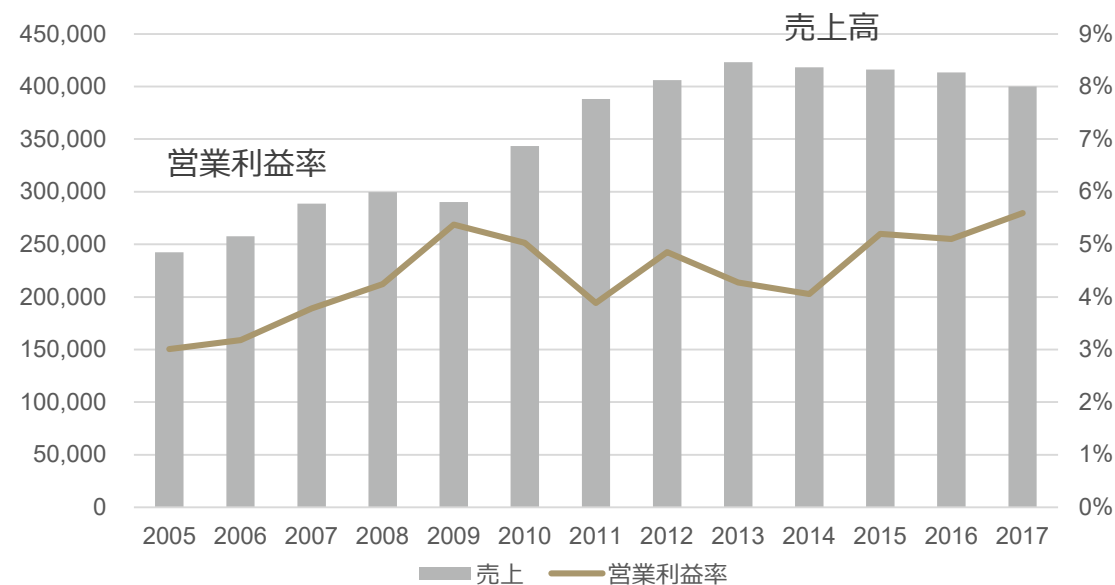
(台湾ドル)



出所：Bloomberg等よりバリュークリエイト作成

売上高と営業利益率

(百万台湾ドル)





4

台湾証券取引所について

台灣證券交易所

4 台湾証券取引所について

台湾株式市場の概況

台湾証券取引所 (TWSE) の2018年12月末の上場企業数は928社、
時価総額は約106兆円、年間の総売買高は約100兆円です※。

株式の他、台湾預託証券 (TDR)、ワラント、ETFなども取引されており、取引所の英語の略称である
TWSEはこれら4商品 (TDR, Warrant, Stock, ETF) の頭文字と一致しています。

※NTドル=3.6円で換算

T_{DR}
台湾預託証券
17銘柄

W_{ARRANT}
ワラント
16,590銘柄

S_{TOCK}
株式
928銘柄

E_{TF}
ETF
110銘柄

時価総額
約**106兆円**

参考／東証一部
約580兆円

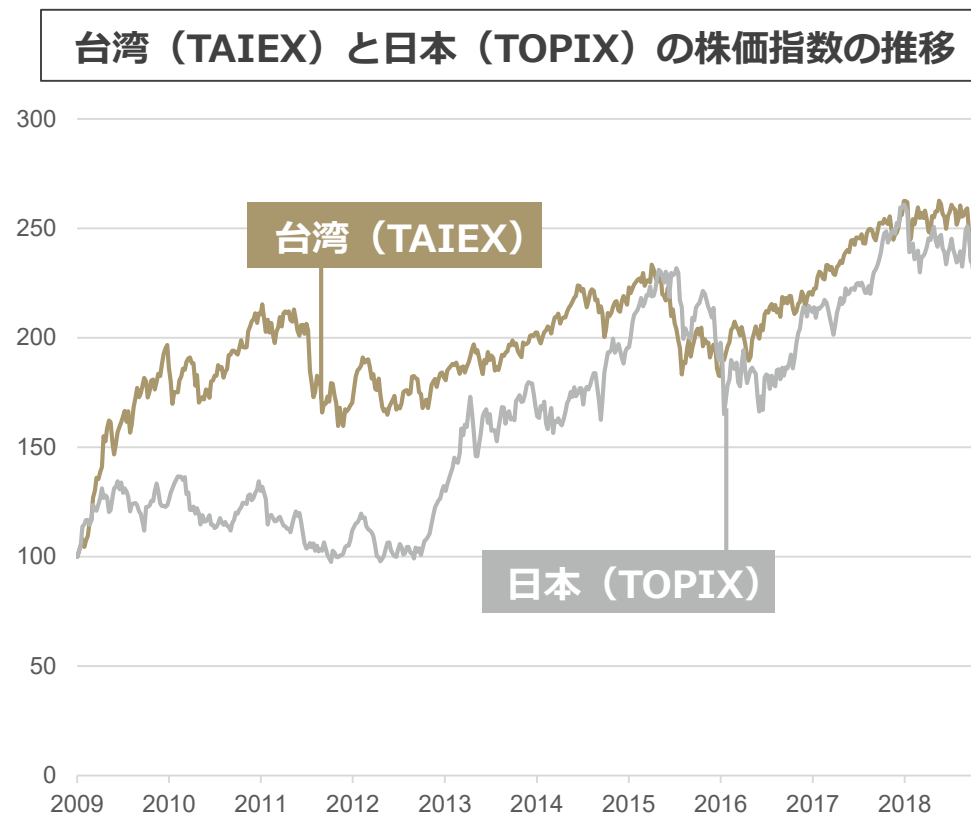
2018年12月末時点

4 台湾証券取引所について | 取引所の特徴・強み |

- ① アジアを代表する規模
- ② 十分な流動性
- ③ 合理的な価格形成
- ④ 上場企業の高い配当性向

4 台湾証券取引所について | 長期の株価推移

- リーマンショック以降、他のアジア市場に先駆けて回復
- IT業界における在庫調整、地政学的リスクなどを織り込み、弱含んでいたが、2016年から上昇基調に



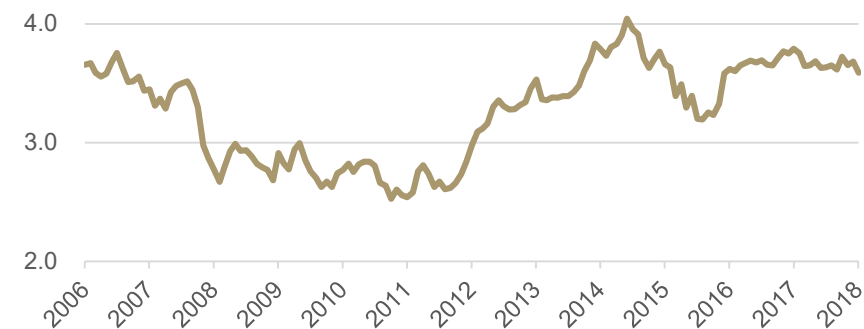
(注) 比較しやすいように指数化しています

出所：Bloombergよりバリュークリエイト作成

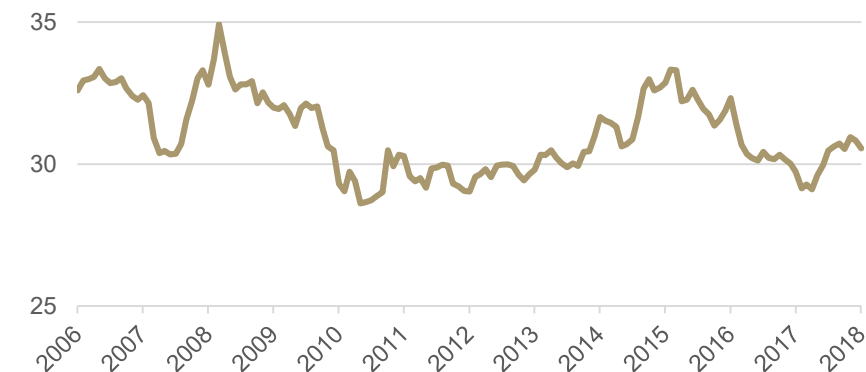
4 台湾証券取引所について | 為替レート |

- 1台湾ドル=約3.6円
- 台湾ドルは、米ドルに対して、安定した推移
- 2016年末から円に対して切り上げ（円安傾向）

円／台湾ドル



台湾ドル／米ドル



出所：Bloomberg等よりバリュークリエイイト作成

4 台湾証券取引所について | 投資するには① |

台湾株・投資信託の購入方法

- 個別株式投資：アジア株式のパイオニア、アイザワ証券にて取引が可能です。

アイザワ証券コールセンター **0120-311-434**

ウェブサイト：<http://www.aizawa.co.jp/>

- 投資信託：台湾株式を対象とした投資信託を購入することができます。
少額から台湾企業への投資が可能です。

ノムラ・アジア・シリーズ - ノムラ・台湾・フォーカス

(運用：野村アセットマネジメント/販売：野村證券)

グローイング台湾株式ファンド

(運用：三井住友アセットマネジメント/販売：ゆうちょ銀行、楽天証券、SBI証券、岡三オンライン証券)

4 台湾証券取引所について | 投資するには② |

ETF・先物の購入方法

- ETF：台湾株式で構成される指数に連動する海外上場ETFの購入が可能です。

iシェアーズMSCI台湾ETF：マネックス証券、SBI証券、楽天証券にて購入できます。

- 先物：台湾を代表する株価指数である台湾加権指数（TAIEX）は大阪証券取引所に上場しており、先物取引が可能です。

少額の資金から取引を始めることができます。

円建てで取引が可能です。

4 台湾証券取引所について | 主な情報の取り方 |

■ 台湾証券取引所のHP

<http://www.twse.com.tw/jp>

台湾市場の最新情報と上場商品（株式、ETF、台湾預託証券、ワラント）の情報を掲載しています。

■ 日経新聞 朝刊 マーケット総合1

■ 様々な書籍

例:台湾のことがマンガで3時間でわかる本



ありがとうございました！

免責事項

当冊子に掲載されている情報は、いかなる情報も投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資等に関する最終ご判断は、利用者ご自身の責任において行われるようお願いいたします。なお、本情報を参考・利用して行った投資等の一切の取引の結果につきましては、当社では一切責任を負いません。

当冊子に掲載されている情報のうち、過去または現在の事実以外のものについては、現時点で入手可能な情報に基づいた当社の判断による将来の見通しであり、様々なリスクや不確定要素を含んでおります。したがって、実際に公表される業績等はこれら種々の要因によって変動する可能性があることをご承知おきください。